

菊池二溪 きくち にせき 儒者。文政二年紀伊國生れ、明治二十四年十月十七日歿（二八九一九）。講純、字子顯、通稱純太郎。筆名二溪學人、二溪居士、二溪老人、二溪隱士、二谿居士、晴雪樓主人等。安積良齋あんせき等小學友。和歌山藩江戸邸内、明教館教授。幕府儒官等々を経く、明治七年京都に移居して著述に従事。

著書「西京傳新記」（菊池純名、初篇、第一篇、明治八年一月京都・文石堂出版）、「續近事紀略」全四冊（同、明治九年二月二十九日版權允許、京都津逮堂）、「國史畧」（同、二編一全五冊、明治十一年二月、二編一全五冊、十一月、五月京都・五車樓）、清部篤造著「文庫」（菊池二谿名、評點、明治十一年八月清濟堂）、吉文「觀止本朝虞初新誌」全二冊（依田學海評點、明治十六年十月一日文玉園。再刊「新譯本朝虞初新誌」阿多俊介譯註、昭和八年十二月五日六合館）、齋藤「類語記事論說軌範」全二冊（菊池純名、明治二十一年十月十五日印刷、大阪・田中書房）等。

